

## R&A のクラブ長さに関するローカルルールについて (2022年1月施行)

日頃よりヤマハゴルフをご愛顧賜り誠にありがとうございます。

2021年10月のR&Aの発表により、2022年1月より「60度法で46インチを超えるクラブの使用を禁止する」といった競技のローカルルールを設定することが可能となりました。

ヤマハゴルフ製品では45.75インチ以上のクラブが60度法で46インチを超えるクラブとなり、上記ローカルルールに抵触する可能性があります。

特に以下の製品をご購入・ご使用の際はご注意ください。

- ・ inpres UD+2 ドライバー
- ・ ヤマハ カスタムオーダーにて45.75インチ以上で製作のドライバー

つきましては各大会のローカルルールをご確認いただきますようお願い申し上げます。

(尚、上記ローカルルールを不採用の大会や、通常のプレーにおいては問題なくご使用いただけます)

[以下、JGA ホームページ 「ローカルルールひな型 G-10 (和訳)」 PDF 資料より抜粋]  
[http://www.jga.or.jp/jga/html/jga\\_data/04KISOKU\\_NEWS/2021\\_KISOKU/MLRG10ClubLength\(JP\).pdf](http://www.jga.or.jp/jga/html/jga_data/04KISOKU_NEWS/2021_KISOKU/MLRG10ClubLength(JP).pdf)

### ローカルルールひな型 G-10 46インチを超える長さのクラブの使用を禁止する

目的 許容されるクラブの最大長を制限するため、委員会はパターを除くクラブの最大長を46インチに制限するローカルルールを採用することを選ぶことができます。

測定許容誤差の0.20インチが46インチを超えて認められます。

クラブの長さの測定方法の説明は用具規則パート2.1c、図3を参照のこと。

このローカルルールは高い技量を有するプレーヤーに限定された競技会(すなわち、プロフェッショナルやエリートアマチュアの競技会)にだけ使用することを推奨します。

誤解を避けるために、このローカルルールひな型が施行される場合、身体的な必要性からプレーヤーに46インチを超えるクラブの使用を認める例外は適用できません。

### ローカルルールひな型 G-10

「ストロークを行うとき、プレーヤーはパターを除き46インチの長さを超えるクラブを使ってはならない。

**このローカルルールに違反したクラブでストロークを行なったことに対する罰：失格。**

こうした長さの仕様に適合しないクラブを持ち運んでいるだけで、そのクラブでストロークを行っていないのであれば、このローカルルールに基づく罰はない。」